



Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会 第116号

広げよう 受け継ごう 交流の輪を！

市民レベルの交流をこれからも

H30年5月19日(土)午後2時から東村山市国際友好協会の総会が多くの来賓と会員が参加して、市民センターで開かれました。

来賓を代表して渡部尚市長(当協会名誉会長)、伊藤真一市議会議長にご挨拶を頂きました。

市長は「今年は姉妹都市提携40周年です。提携当時の熊本市

長他多くの先人達が、不幸な戦争を乗り越えて締結に至った経緯を忘れてはならない。当協会のインディペンデンス市との地道な活動が両国の真の友好に多

大な貢献をされており、これからも市民レベルの交流を継続したい」と挨拶されました。

折笠会長は「姉妹都市提携40周年の記念の標語を(広げよう受け継ごう交流の輪を)」と定め、イ市親善訪問団の歓迎ムードを盛り上げていきたい。

また、今年は大人の交流の年であり、親善派遣団員を募集したところ、当初の予想を上回る応募が有り、交流の幅を広げる

ため全ての応募者の方々を親善派遣団(団長渡部市長)に参加して頂くことといたしました。大いに交流の拡大を期待しています」と挨拶されました。

来賓の紹介の後、議事に入りH29年度の事業報告と会計決算及び監査報告、H30年度の事業計画案及び会計予算案、姉妹都市提携40周年特別予算案等が審議・承認されました。

また、当協会に多大な貢献をされた沼澤稔様他87個人及び団体に協会より感謝状が贈呈されました。

なお、総会後、本年1月に逝去された元会長の関梅四郎様を悼み黙祷をささげました。

その後、岩瀬顧問の乾杯で懇親会が行われました。懇談の後市民表彰を受けられた、高野総務理事及び縣総務理事が紹介されました。

会員相互の親睦・交流を深めながら和やかに閉会となりました。

「人と人」の交流に 慈愛に満ちた眼差しを

関梅四郎元会長を偲んで

前会長 岩瀬由明
元会長関氏が96歳になる間近



故 関梅四郎氏

の本年1月26日に天寿を全うされました。亡

くなられた日は偶然にも40年前イ市と姉妹都市提携を締結した日であり氏と協会の絆の深さを感じます。

氏は弘子夫人と共に永年協会の活動に貢献され、01年から04年まで2期4年第五代会長を務められました。氏は商工会を初め多くの団体で役職を務められました。氏と私との関わりは協会の活動を通してでした。共通の趣味であるゴルフで公私共に御一緒する機会が多かったと思います。

氏は22年(大正11年)生まれで大切な青春期を軍人として太平洋戦争を戦いその後2年間シベリアに抑留されたといわれています。そんな過酷な体験がいつも穏やかで笑顔を絶やさず寛容で強い意思を持った氏の人格になったのではと思います。氏を中心に『関の会』ゴルフ愛好会が97年に当初数人から始まりました。私も途中からの参加ですが欠員が出てもいつも20名位の会員が氏の人柄を慕って在籍しておりました。昨年5月まで20年間平均10回のペースで和気あいあいとゴルフを楽しみました。晩年には少し回数は減りましたが95歳までカートに乗らず芝生の上を歩いていました。医者要らずで晩酌を欠かさない氏は誰もが理想の晩年のお手本でした。眠るが如く安らかに

市民表彰おめでとう

4月21日(土)に行われたH30年度東村山市市民功労表彰式で高野恵一氏、縣なか子氏が公益部門で表彰されました。高野氏は英会話委員、副委員長として永年協会に携わり、現在総務理事となつて11年です。一方縣氏はH5年から会員交流委員や学生派遣副委員長をされ広報委員長を経由して現在は総務理事として協会に貢献されています。総会終了後の懇親会にて、お二人に花束を贈呈しました。



会長から花束を受ける縣氏



高野氏

年会費納入のお願い

H30年度の会費は会員補充委員が7月中旬よりお預かりに伺いますので宜しくお願いたします。その際、広報紙と共に40周年記念品等をお届けします。

平成29年度決算と平成30年度予算

1. 収入 (単位: 決算は円・予算は千円)

項目	H29年度決算額	H30年度予算額
会費	1,623,000	1,600
英会話講座収入	2,457,000	2,600
バザー事業収入	266,300	200
補助金	470,000	470
学生交流納入金	0	0
寄付金	0	0
繰入金	0	0
繰越金	2,244,957	2,240
雑収入	2,009	0
合計	7063,266	7,110

2. 支出

項目	H29年度決算額	H28年度予算額
会議費	12,667	50
消耗品費	153,348	60
印刷費	92,827	100
渉外費	39,940	50
通信費	10,219	50
使用料	25,200	50
備品費	0	50
親善訪問団派遣費	897,885	1,135
学生受入費	784,032	1,080
訪問者受入費	0	0
教育交流費	0	0
バザー費	163,382	200
英会話講座費	1,464,924	1,540
イ市行事協力費	0	0
日本庭園造園協力費	0	10
広告宣伝費	756,241	850
会員交流費	248,048	250
会員拡充費	82,967	130
ホームページ管理費	136,648	140
諸支出金	96,950	200
積立金	0	0
繰越金	0	0
予備費	50,322	1,165
合計	5,015,600	7,110

平成30年度事業計画

事業名	時期および期間
会員(正会員・賛助会員)の拡充	年間を通して
英会話講座の開講	前期4月~9月・後期10月~3月
イ市"市民訪問団"受入事業	6月5日(火)~6月10日(日)
"親善訪問派遣団"派遣事業	8月30日(木)~9月5日(水)
広報紙「人と人」の発行	7月、11月(全戸配布)、3月
市民産業まつりに参加(バザー出店)	11月10日(土)~11日(日)
会員交流事業	年間を通して
姉妹校への協力	年間を通して
親善訪問派遣団(学生)OB・OG会事業	年間を通して
姉妹都市および諸外国からの訪問者受入	年間を通して
国際交流団体連絡協議会事業への参加	年間を通して



晴天の富士山に抱かれて（富士山五合目にて）

40周年おめでとう！ 次の世代へつなげよう 姉妹都市交流の絆を



40周年記念フラッグ新規作成

6月5日（火）～10日（日）の6日間、インディペンデンス市訪問団（22名）が東村山市にホームステイし、姉妹校や消防署、富士山を訪れ、座禅・剣道などの日本文化体験を楽しまれました。今回は12名が悪天候のため中継地で足止めとなり、来日が2日遅れるなどのハプニングがあったものの、みなさん無事に帰国されました。

今回来日された方々にお話を伺いました

Q1.初来日の方に「東村山市の印象は？」

- ・街は美しく、花であふれている
- ・皆がフレンドリーに接してくれる

Q2.食べたもので何がおいしかった？

- ・天ぷら ・そば、うどん ・ごはん
- ・寿司 ・カレー ・お好み焼き

…こんな意見もありました
※以前は梅干しが嫌だったが、今は我慢できる！

Q3.覚えた日本語、よく使った日本語は？

- ・ありがとう ・こんにちは ・どういたしまして
- ・おはよう ・いただきます ・ただいま

…語呂や言葉の音が良かったのでしょうか？
※駅の名前。たかだのばば・にほんばし。言うのが楽しかったという意見もありました。

ホストファミリーと過ごして

- ◎短い滞在だったがホストファミリーと繋がった感じがする
- ◎これからずっとホストファミリーと連絡を取り合いたい
多くの方が答えてくれました



剣道体験 お見事！面あり（東村山警察署にて）



5便に分かれて到着～てんてこまい!!（市民センターにて）



回田小 姉妹校提携30周年を祝って



消防署 真剣にAEDを使って（東村山消防署にて）

2018ゲスト・ホストファミリー

1	Charles Brown	M	小山ファミリー
2	Jeannae Segura Brown	F	鈴木ファミリー
3	Roger Swick	M	丸山ファミリー
4	Mary Swick	F	折笠ファミリー
5	Robert Jones	M	柳内ファミリー
6	Tina Saulsbury	F	川村ファミリー
7	Daniel Jeffries	M	伊藤ファミリー
8	Dana Jeffries	F	神谷ファミリー
9	Nanette Biersmith	F	米本ファミリー
10	Lisa Collins	F	藤原ファミリー
11	Barbara Warnex	F	松井ファミリー
12	Gaylene Hasley	F	森ファミリー
13	Gerald Hancock	M	小嶋ファミリー
14	Mary Hancock	F	
15	Brent Hancock	M	
16	Deborah Miele	F	
17	Carolyn Hinkle	F	
18	Peter Hahn	M	
19	Tim Hahn	M	
20	Debra Glagola	F	
21	Janet Weston	F	
22	Alexandra Diehl	F	

2018イ市親善訪問団受入日程

6月		行事
5日	火	到着 ウェルカムレセプション
6日	水	市内めぐり（正福寺・多摩湖・北山公園・消防署・豊島屋酒造）
7日	木	姉妹校訪問（回田小学校） 日本文化体験 ①浴衣着付け・茶道②剣道③座禅 市長・議長表敬訪問
8日	金	富士山観光（五合目・忍野八海・世界遺産センター）
9日	土	40周年式典と祝宴
10日	日	東村山を離れる



◀40周年式典
（ジュネイン委員長さんへ
市長・会長から感謝状を渡す）



姉妹都市提携40周年を記念し、米インディペンデンス市の親善訪問団が東村山市を訪れている。7日には、市立回田小で、児童らと一緒に東村山音頭を踊るなどして、地域の文化を楽しんだ。

東村山音頭で友好深め 米姉妹都市から訪問団

両市は1978年、市民同士の交流をきっかけに姉妹都市となった。東村山市国際友好協会などが中心となり、交互に高校生を派遣してホームステイを体験してもらうなどしている。

節目の今年には、5～10日の日程で24人が来日。東村山市内のホストファミリー宅に滞在しながら、観光スポットや公共施設などを訪れている。

7日には、クレンデル小の姉妹校である市立回田小に足を運び、児童らと和太鼓や琴などの演奏に挑戦した。東村山音頭を踊ったティム・ハーンさん(59)は「子どもたちと一緒に体験できて楽しかった」と話していた。

読売新聞 2018年6月8日朝刊に掲載



市長表敬訪問 やっと全員がそろった！ホッとして笑顔（市長室にて）

お知らせ

編集後記

◆人事異動（市民部関係）
市民部長に清水信幸氏、市民相談・交流課多文化共生係長に石川正行氏、副主任に岡山恭子氏が就任されました。市民部長の大西岳宏氏は資源循環部長に異動されました。（4月1日付）

姉妹都市提携40周年記念受入行事も無事終了しました。協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。

今号ではH30年度当協会の総会やイ市親善訪問団の歓迎行事を中心に特集記事を掲載しております。お楽しみください。

人と人

発行：東村山市国際友好協会
編集：広報委員会

東村山市本町 1-2-3
東村山市役所内
☎393-5111 内線2558・2559
http://www.h-ifa.com/